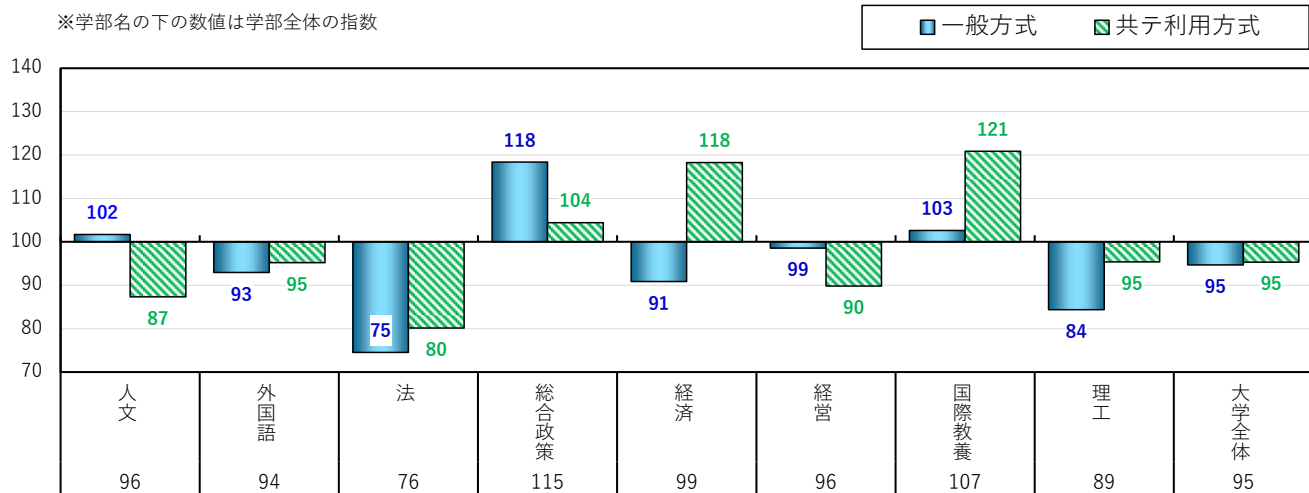


## 南山大：大学全体ではやや減少、8 学部中 6 学部が減少

一般：-825 人 共テ：-371 人

※前年度の志願者数を100とする指数  
 ※学部名の下の数値は学部全体の指数



## COMMENT ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、1,196 人(95)のやや減少。前年度5年ぶりに増加したが、再び減少に転じた。コロナ禍による遠距離移動への極端な敬遠傾向が緩和され、首都圏や関西圏への流出が復活した影響が見られた。学部別では、8 学部中で増加は(総合政策)(115)の大幅増加、(国際教養)(107)のやや増加のみで、他の6 学部はいずれも減少。方式別では、一般方式は 825 人(95)のやや減少で2年ぶりの減少。共通テスト利用方式は 371 人(95)のやや減少で3年ぶり減少。

## &lt;一般方式&gt;

- 人文(102)**は、微増だが2年連続増加。学科別では、4 学科とも増加。(キリスト教)(120)は大幅増加で2年連続増加、他の3 学科はいずれも微増だが、2年連続増加。
- 外国語(93)**は、系統への低い人気も影響してやや減少。前年度から募集単位を専攻別から学科別に変更したが、(スペイン・ラテンアメリカ)(106)がやや増加だが、他の4 学科はいずれも減少、特に(アジア)(77)、(フランス)(83)はいずれも大幅減少。
- 法(75)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。2021 年度以降は前年度の反動による大幅な増減が継続。
- 総合政策(118)**は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。系統別分類で同じ法学系の法とは逆の増減が継続。
- 経済(91)**は、前年度大幅増加の反動で減少。
- 経営(99)**は、前年度大幅増加の反動は小さく、微減。2019 年度以降は前年度の反動による増減が継続。
- 国際教養(103)**は、やや増加で3年連続増加。
- 理工(84)**は、学科改組3年目だが、2年連続大幅減少。学科別では、(データサイエンス)(123)の前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、他の3 学科はいずれも大幅減少。(電子情報工)(63)は前年度増加の反動、(機械システム工)(78)、(ソフトウェア工)(82)は改組後2年連続減少。

## &lt;共通テスト利用方式&gt;

- 人文(87)**は、前年度大幅増加の反動で減少。学科別では、(キリスト教)(178)は5年連続減少の反動で激増。一方で、(人類文化)(73)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(日本文化)(84)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(心理人間)(99)は前年度大幅増加の反動はなく微減。
- 外国語(95)**は、やや減少で2年連続減少。学科別では、5 学科中2 学科で増加。(ドイツ)(105)は前年度減少の反動は小さくやや増加、(スペイン・ラテンアメリカ)(102)も前年度減少の反動は小さく微増。一方で、(アジア)(82)は2年連続増加の反動で大幅減少、(英米)(96)は2年連続やや増加の反動でやや減少、(フランス)(96)は2年連続やや減少。
- 法(80)**は、前年度激増の反動で大幅減少。
- 総合政策(104)**は、前年度大幅減少の反動は小さく、やや増加。2019 年度以降は系統別分類で同じ法学系の法と逆の増減。
- 経済(118)**は、2年連続大幅増加。志願者数は5年ぶりに1,000 人を上回った。
- 経営(90)**は、前年度大幅増加の反動で減少。
- 国際教養(121)**は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。
- 理工(95)**は、学科改組3年目だが、2年連続やや減少。学科別では、増加は(データサイエンス)(119)は前年度大幅減少の反動での大幅増加。一方で、他の3 学科はいずれも減少。(ソフトウェア工)(82)は前年度の微減に引き続き大幅減少、(機械システム工)(87)は前年度増加の反動で減少、(電子情報工)(97)は前年度微減に引き続きやや減少。